

職員による自己評価

A環境面

- ・活動によって部屋を分け、取り組みやすい環境づくりをしている。

B児童への支援内容

- ・個別で楽しむだけではなく、みんなで参加して楽しい活動が出来るように提案している。
- ・活動の立案には子ども会議を行い、こどもたちの意見を取れている。
- ・色々な掃除方法を提案することで楽しみながら取り組むことが出来ている。

C関係機関との連携

- ・学校への送迎時に子どもたちの体調について情報共有を行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳や送迎時にその日の活動内容や出来事を共有している。

E非常対応

- ・避難訓練の実施や内部研修を定期的に行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・活動できるスペースが確保されている。

B児童への支援内容

- ・事業所で活動している掃除や食器洗いなど身の回りのことを自宅でも実践できるようになっている。出来ることが増えるとより良い。
- ・集団活動において楽しくコミュニケーションをとることが出来ていて、成長を感じる。

C事業所からの情報発信

- ・送迎時や連絡帳にてどんなことを取り組んだか聞くことが出来る。
- ・facebook や毎月のお便り「なないろ通信」で活動の様子がわかる。

D非常対応

- ・避難訓練で避難場所の確認や災害時の対応について考える機会がある。
- ・ヘルメットの装着方法を確認している。

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動内容によって部屋を使い分けることでそれぞれが取り組みやすい環境となっている。
- ・事業所でおこなっている掃除や食器洗いなどの身の回りのことが家でも出来るようになっている。
- ・個別の活動だけでなく、他の子と関わりながら集団での活動も楽しく取り組むことが出来ている。
- ・保護者様と事業所で送迎時や連絡帳を用いて、情報の共有が出来ている。

【相違点】

- ・身の回りのことで出来ることをより増やしてほしい。
- ・ソーシャルスキルをより高めてほしい。
- ・宿題などの学習面も見してほしい。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・活動によって部屋を分けることでそれぞれがやりたいことを取り組みやすい環境となっている。
- ・事業所にて毎回取り組んでいる掃除や食器洗いなどの身の回りのことが定着し、日常生活でも取り組むことが出来ている。
- ・他の子と関わりながら集団活動を楽しむことが出来ている。

事業所の改善点

- ・子どもたちが日常生活において自分で出来ることをより増やす。
- ・父母会や保護者会など、保護者同士の協力体制を強化するための支援を検討する。

事業所の改善への取り組み

- ・子どもたちが身につけたスキルや出来るようになったことは、確実に定着させることを目指して継続して取り組み、新たにできることを増やせるような支援を心がけていく。
- ・父母会や保護者会について希望される保護者様とそうでない保護者様がいることを踏まえて検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度は評価表へのご協力、誠にありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見やご感想を真摯に受け止め、今後の活動にしっかりと反映させていきたいと考えております。継続して進めるべき点については引き続き丁寧に取り組み、より良くするために具体的な対策を検討し改善していきます。これからも一人ひとりの自立に向けて、子どもたちと一緒に楽しみながら取り組んでいきます。